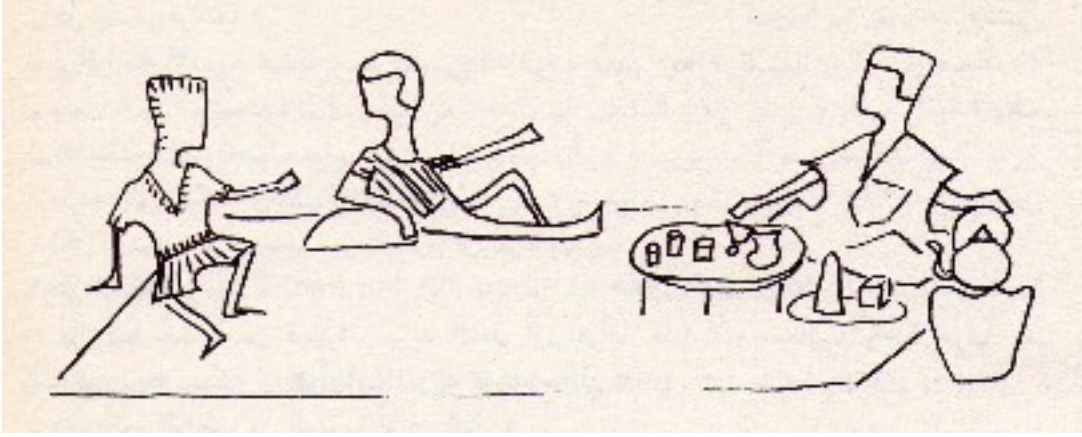


第 17 課 モーリタニアの紅茶

الدَّرْسُ السَّابِعُ عَشَرَ : الشَّايُ الْمُورِيتَانِيُّ



دُعِيَ نَذِيرٌ لِشُرْبِ الشَّايِ عِنْدَ أَحَدِ أَصْحَابِهِ وَقَدَّمَ إِلَى شَابٍّ مِنْ سُكَّانِ مُورِيتَانِيَا . يَسْأَلُ نَذِيرٌ الْمُورِيتَانِيَّ :

- قِيلَ لِي إِنَّهُ يُسْتَهْلَكُ كَثِيرٌ مِنَ الشَّايِ عِنْدَكُمْ .

- نَعَمْ ، لِأَنَّهُ يُشْرَبُ فِي كُلِّ وَقْتٍ مِنَ الْيَوْمِ .

- وَأَيْنَ يُوجَدُ الشَّايُ ؟

- يُبَاعُ فِي الْحَوَانِيتِ .

- أُرِيدُ أَنْ أَقُولَ : هَلْ يَزْرَعُ فِي أَرْضِكُمْ ؟

- لَا ، يُسْتَوْرَدُ مِنَ الْخَارِجِ .

- وَكَيْفَ يَهَيَّأُ ؟

- يُتَّخَذُ شَيْءٌ مِنَ الشَّايِ الْأَخْضَرِ ، وَيُسَخَّنُ الْمَاءَ حَتَّى يَغْلِي . ثُمَّ يُغْسَلُ الشَّايُ بِهَذَا الْمَاءِ ، ثُمَّ

يُجْعَلُ الشَّايُ فِي بَرَادَةٍ مَعَ الْمَاءِ وَالنَّعْنَاعِ وَالسُّكَّرِ . وَتَجْعَلُ الْبَرَادَةَ عَلَى النَّارِ بَضْعَ دَقَائِقَ . وَبَعْدَ

ذَلِكَ يُصَبُّ الشَّايُ مِنَ الْبَرَادَةِ إِلَى الْكُؤُوسِ . وَمِنَ الْكُؤُوسِ إِلَى الْبَرَادَةِ ، حَتَّى يَذُوبَ السُّكَّرُ ، ثُمَّ

يُقَدَّمُ إِلَى الشَّارِبِينَ .

- وَهَلْ يَتِمَّهَلُ فِي شُرْبِهِ كَمَا يَفْعَلُ عِنْدَنَا ؟

- لَا ، بَلْ يُشْرَبُ سَرِيعًا ، لِأَنَّ الْعَمَلِيَّةَ تُعَادُ مَرَّتَيْنِ أُخْرَيْنِ .

- أَفْتَشْرَبُ ثَلَاثَ كُؤُوسٍ؟

- نَعَمْ ، لَكِنْ لَا يُزَادُ فِي الْبَرَادَةِ الشَّايُ . وَإِنَّمَا يُزَادُ الْمَاءُ وَالسُّكَّرُ وَالنَّعْنَاعُ . وَهَكَذَا تَكُونُ الْكَأْسُ الْأُولَى قَوِيَّةً ، وَالثَّانِيَةُ مُتَوَسِّطَةً ، وَالثَّلَاثَةُ خَفِيفَةً .

- وَهَلْ يُؤْكَلُ شَيْءٌ مَعَ الشَّايِ؟

- قَدْ يُؤْكَلُ مَعَهُ التَّمْرُ ، أَوْ اللَّحْمُ الْمَشْوِيُّ ، وَقَدْ لَا يُؤْكَلُ شَيْءٌ .

- أَنَا لَمْ أَشْرَبِ الشَّايَ عَلَى هَذِهِ الطَّرِيقَةِ قَطُّ . هَيِّئْهُ لَنَا مِنْ فَضْلِكَ .

- لَكِنِّي لَسْتُ فِي دَارِي . أَنَا هُنَا مَدْعُوٌّ .

يَقُولُ صَاحِبُ نَذِيرٍ لِلْمُورِيتَانِيَّ :

- أَنْتُمَا الْإِثْنَانِ مَدْعَوَانِ ، لَكِنْ هَيِّئِ أَنْتَ الشَّايَ ، بَيْنَمَا يُرِينَا نَذِيرٌ كَيْفَ يُشَوِي اللَّحْمَ .

< 単語 >

مُورِيتَانِيَّ モーリタニアの

قَدَّمَ (II) 紹介する

مُورِيتَانِيَا モーリタニア

زَرَعَ (Aa) 栽培する

اِسْتَوْرَدَ (X) 輸入する

سَخَّنَ (II) 熱する

غَلَّى (Ai) 沸騰する

بَرَادَةٌ ティーポット > بَرَادَاتُ

نَعْنَاعٌ ミント

سُكَّرٌ 砂糖

نَارٌ 火 > نِيرَانٌ

صَبَّ (Au) 注ぐ

ذَابَ (Au) 溶ける

تَمَهَّلَ (V) ゆっくり行う

عَمَلِيَّةٌ 行為 > عَمَلِيَّاتُ

زَادَ (Ai) 増やす

قَوِيٌّ 強い > أَقْوِيَاءُ

مُتَوَسِّطٌ 中間の

مَشْوِيٌّ 焼かれた

طَرِيقَةٌ 方法 > طَرَائِقُ

قَطُّ 一度も

بَيْنَمَا 一方

شَوَى (Ai) 焼く

< 和訳 >

第17課：モーリタニアの紅茶

ナジールが友だちの一人の家に紅茶を飲みと呼ばれ、モーリタニアの住人の青年に紹介されました。ナジールはモーリタニア人に尋ねます。

「あなたの国ではたくさんの紅茶が消費されると聞きました。」

「そうです。だってそれは一日中飲まれていますから。」

「紅茶はどこにあるんですか？」

「店で売られています。」

「そういう意味じゃありません。紅茶はあなたの国で栽培されているんですか？」

「いいえ、外国から輸入されています。」

「それはどのようにたてられますか？」

「緑色の紅茶の葉が少し取られます。そして沸騰するまで水が熱されます。そのお湯で紅茶が洗われ、それからお湯とミントと砂糖と一緒に、ティーポットに入れられます。そしてティーポットは数分、火の上かけられます。その後、紅茶はティーポットからコップに注がれます。それから砂糖が溶けるまで、コップからティーポットに戻され、そしてお客様に出されます。」

「お茶の飲み方は、僕たちの国のようにゆっくりですか？」

「いいえ、急いで飲まれます。なぜならその動作はもう2回繰り返されるからです。」

「つまり、3杯飲まれるわけですね？」

「そうです。でもティーポットの中の紅茶は増やされません。ただ水と砂糖とミントが増やされるだけです。ですから、1杯目は濃くて、2杯目は中間で、3杯目は薄くなります。」

「紅茶と一緒に何か食べられますか？」

「ナツメヤシの実や焼き肉が食べられることがありますし、何も食べられないこともあります。」

「僕はそんな方法で紅茶を飲んだことはありません。ぜひ私たちにたててください。」

「でも、私は自分の家にいるわけじゃありません。私はお客様なんですから。」

ナジールの友だちがモーリタニア人に言います。

「君たちは二人ともお客様です。でも、あなたはお茶をたててください。そしてナジールはどのように肉が焼かれるか見せてください。」

<文法>

◆1 受動態

*これまで私たちが学んだ動詞は、すべて能動態でした。アラビア語の動詞には、当然受動態もあります。この課と次の第18課では、動詞の受動態と受動分詞を学びます。

*一般に基本形と派生形の動詞は受動態を持ちますが、以下のような動詞は受動態を持ちません。

① **فَعَلَ** 型の基本形自動詞 (例) **كَبُرَ** [Uu] 大きくなる・年をとる

② **فَعَلَ** 型または **فَعِلَ** 型基本形動詞のうちで、行為や動作ではなく状況や状態を示す動

詞 (例) صَلَحَ [Au] 正しい・善良である / سَوِدَ [Ia] 黒い・黒くなる

③派生形第9形の動詞 (例) أَحْمَرُ 赤い・赤くなる

◆ 2 受動態完了形の活用

*受動態の完了形は、能動態の完了形から次のように作ります。

①第2語根より前の母音を、スクーンであるものを除いて、すべてダンマに変えます。

②第2語根の母音をカスラに変えます。

(例1) كَتَبَ 書いた → كُنْتُ 書かれた

(例2) قَدَّمَ 贈った → قُدِّمَ 贈られた

(例3) اسْتَقْبَلَ 迎えた → أُسْتُقْبِلُ 迎えられる

*ダブル動詞の場合は、以下のような活用になります。

①第3語根が母音を持つ人称では、第2語根と第3語根がシャッダで統合されるため、受動態の識別音である第2語根のカスラは第3語根に吸収されます。¹

(例1) صَبَّ 注いだ → صُبِّ [中間形] → صُبَّ 注がれた

(例2) اِحْتَجَّ 抗議した → أُحْتَجَّ [中間形] → أُحْتَجَّ 抗議された

ただし、第1語根がスクーンになる第4形と第10形では、受動態の識別音である第2語根のカスラは第1語根に移動します。

(例1) أَحَبَّ 愛した → أُحِبُّ [中間形] → أُحِبُّ 愛された

(例2) اسْتَحَقَّ 値する → أُسْتَحَقُّ [中間形] → أُسْتَحَقُّ 値された

②第3語根が母音を持たない人称では、第2語根と第3語根が分離表記されるため、結果的に規則動詞と同型の活用になります。

(例1) صَبَّبتُ 私は注いだ → صُبِّبتُ 私に注がれた

(例2) أَحَبَّبتُ 彼女たちは愛した → أُحِبُّبتُ 彼女たちは愛された

*同化動詞の場合、完了形では規則動詞と全く同型の活用です。

(例) وَجَدْتُمْ あなた方は発見した → وَجِدْتُمْ あなた方は発見された

*くぼみ動詞の場合は、第2語根が強変化する第2形、第3形、第5形、第6形を除き、くぼみ動詞の変形規則に従って第2語根の母音が移動するため、第2語根直前の音節が、受動態の識別音であるカスラの長母音 [i:] をとります。

(例1) قَالَ 言う → قَوْلٌ [中間形] → قِيلٌ 言われる

(例2) اِحْتَاَجُ 必要とする → اِحْتَوِجُ [中間形] → اِحْتِيجُ 必要とされる

*弱動詞の場合は、第2語根が母音 [i] を持つため、第3語根の و は強制的に ي に変換

1 ただし、第2語根が強変化する第2形と第5形を除きます。

されます。その結果、すべての弱動詞は、第3語根の種別には関わらず、また基本形及びあらゆる派生形で **بَقِيَ** 型の活用をとります。

(例1) **دَعَا** 招く → **دُعُو** (規則) → **دُعِي** 招かれる

(例2) **أَعْطَى** 与える → **أَعْطَوْ** (規則) → **أَعْطِي** 与えられる

*完了形の活用をまとめると、以下のような表になります。

[17-1] 受動態完了形の活用

	規則動詞	ダブル動詞	同化動詞	くぼみ(W)	くぼみ(Y)	弱動詞
基	فُعِلَ	صُبَّ	وُجِدَ	قِيلَ	بِعَ	دُعِيَ
II	فُعِلَ	هُدِيَ	وُدِعَ	قُومَ	ضِعَ	سُلِيَ
III	فُوعِلَ	مُوسَّ	وُوقِفَ	قُومِمَ	بُوعِ	قُوسِيَ
IV	أُفْعِلَ	أُحِبَّ	أُوقِفَ	أُعِينَ	أُضِعَ	أُعْطِيَ
V	تُفْعِلَ	تُحَقِّقَ	تُوقِفَ	تُعَوِّدَ	تُهَيِّئَ	تُسَلِّيَ
VI	تُفُوعِلَ	تُمُوسَّ	تُتُوصِلَ	تُمُوتَ	تُزْوِدَ	تُدُوعِيَ
VII	أُنْفَعِلَ	أُنْصَبَّ	---	أُنْسِيقَ	أُنْبِيعَ	أُنْحَنِيَ
VIII	أُفْتَعِلَ	أُحْتَجَّ	أُتْفِقَ	أُحْتِيجَ	أُخْتِيرَ	أُشْتَكِيَ
X	أُسْتَفْعِلَ	أُسْتَحِقَّ	أُسْتَوْقِفَ	أُسْتَرِيحَ	أُسْتَرِيدَ	أُسْتَدْعِيَ

◆ 3 受動態未完了形の活用

(1) 規則動詞

*受動態の未完了形をつくるには、まず能動態未完了形の活用接頭辞の最初の音節だけをダンマに変えます。あとは、第2語根の母音をファタハに変えるだけです。

(例1) **يَشْرَبُ** [能動態基本形・3単男] → **يُشْرَبُ** [同・受動態]

(例2) **يَتَقَدَّمُ** [能動態第5形・3単男] → **يُتَقَدَّمُ** [同・受動態]

(例3) **يَفْتَرِحُ** [能動態第8形・3単男] → **يُفْتَرِحُ** [同・受動態]

(例4) **يَسْتَهْلِكُ** [能動態第10形・3単男] → **يُسْتَهْلِكُ** [同・受動態]

(2) ダブル動詞

*第2語根と第3語根が統合表記されるか否かは、能動態の場合と同じです。従って、第2語根と第3語根が統合表記されている人称では、活用接頭辞の最初の母音をダンマに変えた後、第2語根が移動してきている第1語根の母音をファタハに変えます。

(例) **يُرَدُّ** [能動態基本形・3単男] → **يُرَدُّ** [同・受動態]

* 第2語根と第3語根が分離表記されている人称では、規則動詞の場合と同様に、活用接頭辞の最初の母音をダンマに変えた後、第2語根の母音をファタハに変えます。

(例) يَرُدُّنُ [能動態基本形・3複女] → يُرَدُّنُ [同・受動態]

(3)同化動詞

* 第1語根が母音を持つ第2形、第3形、第5形、第6形では、規則動詞の派生形と同型になります。

* 第1語根がスクーンで、直前の音節が短母音 [u] を持つ基本形、第4形では、第1語根の و は発音記号が消えて、長母音 [u:] を表す長音化文字に変わります。

(例) يَجِدُ [能動態基本形・3単男] → يُوجَدُ [中間形] → يُوجَدُ [同・受動態]

* なお、第1語根がスクーンで、直前の音節が短母音 [a] を持つ第10形では、第1語根の و はそのまま短母音 [a] と、二重母音 [aw] を構成します。

(例) يَسْتَوْقِفُ [能動態第10形・3単男] → يُسْتَوْقَفُ [同・受動態]

(4)くぼみ動詞

* 第2語根が強変化する第2形、第3形、第5形、第6形では、規則動詞の派生形と同型になります。

* 第1語根がスクーンになる基本形、第4形、第10形では、第2語根は母音 [a] を第1語根に引き渡し、自身は長母音 [a:] を表すアリフに変わります。

(例) يَبِيعُ [能動態基本形・3単男] → يَبِيعُ [中間形] → يَبِيعُ [同・受動態]

* 第2語根直前の音節が短母音 [a] である第7形と第8形では、第2語根は長母音 [a:] を表すアリフに変わります。

(例) يَحْتَاجُ [能動態第8形・3単男] → يَحْتَوِجُ [中間形] → يَحْتَاجُ [同・受動態]

(5)弱動詞

* 基本形・派生形を問わず第2語根が母音 [a] を持つため、第3語根はすべてアリフ・マクスーラにかかります。

(例) يَشْوِي [能動態基本形・3単男] → يُشْوَى [同・受動態]

* 未完了形の活用をまとめると、以下のような表になります。

[17-2] 受動態未完了形の活用

	規則動詞	ダブル動詞	同化動詞	くぼみ(W)	くぼみ(Y)	弱動詞
基	يُفَعَلُ	يُصَبُّ	يُوجَدُ	يُقَالُ	يُبَاعُ	يُدْعَى
II	يُفَعَلُ	يُهْدَى	يُودَعُ	يُقَوْمُ	يُضِيعُ	يُسَلَى
III	يُفَاعَلُ	يُمَاسُ	يُؤَافِقُ	يُقَافِمْ	يُبِيعُ	يُقَاسَى
IV	يُفَعَلُ	يُحَبُّ	يُوقَفُ	يُعَانُ	يُضَاعُ	يُعْطَى

V	يَتَفَعَّلُ	يَتَحَقَّقُ	يَتَوَقَّفُ	يَتَعَوَّدُ	تَهَيَّأَ	يُتَسَلَّى
VI	يُنْفَعَلُ	يُتَمَّاسُ	يُتَوَاصَلُ	يُتَمَّاءُ	تُرْوَدُ	يُنْدَاعَى
VII	يُنْفَعَلُ	يُنْصَبُ	---	يُنْسَاقُ	أُنْبِيعَ	يُنْحَنَى
VIII	يُفْتَعَلُ	يُحْتَجُّ	يُتَوَقَّفُ	يُحْتَاجُ	أُخْتِيرَ	يُشْتَرَى
X	يُسْتَفْعَلُ	يُسْتَحَقُّ	يُسْتَوْقَفُ	يُسْتَرَاخُ	أُسْتَزِيدَ	يُسْتَدْعَى

◆ 4 基本形動詞の受動分詞

*既に学んだように、基本形の受動分詞は **مَفْعُولٌ** 型をとります。

(例) شَرِبَ 飲む → مَشْرُوبٌ

*ダブル動詞・同化動詞の場合も同様です。

(例1) مَدَّ 広げる → مَمْدُودٌ

(例2) وَجَدَ 存在する → مَوْجُودٌ

*弱動詞では、第3語根の弱文字が直前の長母音 [u:] と語形変化を起こします。

①第3語根が **و** の場合は、連続する **و** がシャッダで統合されて **مَفْعُوٌ** 型になります。

(例) دَعَا 呼ぶ → مَدْعُوٌ [理論形] → مَدْعُوءٌ

②第3語根が **ي** の場合は、長母音 [u:] を示す **و** が **ي** に変わった後、第2語根の母音が [i] に変わり、連続する **ي** がシャッダで統合されて最終的に **مَفْعِيٌ** 型になります。

(例1) بَنَى 建てる → مَبْنُوءٌ [理論形] → مَبْنِيٌّ [中間形] → مَبْنِيٌ

(例2) شَوَى 焼く → مَشْوُوءٌ [理論形] → مَشْوِيٌّ [中間形] → مَشْوِيٌ

*くぼみ動詞の受動分詞に関しては、次の第18課で学びます。

◆ 5 受動態の用法

*アラビア語の受動態には、動作の受動性を表す通常の用法の他に、フランス語の無人称構文に相当する用法もあります。このためアラビア語では、各種の存在動詞を除き、たとえ自動詞であっても受動態が可能です。

(例) يَتَمَهَّلُ 彼はゆっくり行う [能動態] / يُتَمَهَّلُ それはゆっくり行われる [受動態]

◆ 6 名詞 **بَرَادَةٌ**

*この語は通常「冷凍庫」「冷蔵庫」の意味で用いられますが、マグレブ地域では「ティーポット」「急須」の意味で用いられます。また **بَرَادٌ** という語形もあります。

<練習>

[1] 次の質問に答えなさい。

- | | |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------|
| (1) الإلام دعي نذير ؟ | (2) عند من دعي ؟ |
| (3) إلى من قدم ؟ | (4) ما يسأل نذير الموريتاني ؟ |
| (5) لم يستهلك كثير من الشاي في موريتانيا ؟ | (6) أين يباع الشاي ؟ |
| (7) هل يزرع الشاي في موريتانيا ؟ | (8) من أين يستورد ؟ |
| (9) أي شاي يتخذ ؟ | (10) ما يفعل بالماء ؟ |
| (11) حتى متى يسخن ؟ | (12) ثم ما يفعل بالشاي ؟ |
| (13) أين يجعل الشاي النظيف ؟ | (14) ما يجعل معه ؟ |
| (15) أين تجعل البرادة ؟ | (16) كم تبقى البرادة على النار ؟ |
| (17) ثم أين يصب الشاي ؟ | (18) هل يصب مرة واحدة ؟ |
| (19) لم يصب عدة مرات ؟ | (20) ثم إلى من يقدم ؟ |
| (21) هل يتمهل في شرب الشاي ؟ | (22) لم يشرب سريعا ؟ |
| (23) أين يتمهل في شربه ؟ | (24) كم كأسا تشرب ؟ |
| (25) هل الكأس الثانية كالأولى ؟ | (26) وكيف الثانية ؟ |
| (27) وكيف الثالثة ؟ | (28) لم تكون الكأس الثالثة خفيفة ؟ |
| (29) كم مرة يجعل الشاي في البرادة ؟ | (30) كم مرة يجعل فيها الماء ؟ |
| (31) ما قد يؤكل مع الشاي ؟ | (32) هل شرب نذير الشاي على هذه الطريقة ؟ |
| (33) ماذا يقول للموريتاني ؟ | (34) لم لا يريد الموريتاني أن يهيئ الشاي ؟ |
| (35) ما يقول صاحب نذير ؟ | (36) من يهيئ الشاي ؟ |
| (37) من يشوي اللحم ؟ | |

[2] 次の動詞の、完了形と未完了形の三人称単数男性形の受動態を書きなさい。

سَمِعَ	مَسَّ	وَقَفَ	زَارَ	خَافَ

نَسِيَ	عَنِّي	أَعْطَى	اخْتَارَ	اسْتَعَانَ

[3] 次の基本形動詞の受動分詞（男性単数形）を書きなさい。

عَرَفَ	نَهَى	مَسَّ	وَجَدَ	وَصَلَ
شَكَأَ	بَنَى	قَضَى	نَسِيَ	رَضِيَ

[4] 第2形動詞 سَلَّى を直説法の完了形と未完了形の受動態に活用させなさい。

	完了形			未完了形		
	単数形	双数形	複数形	単数形	双数形	複数形
3男						
3女						
2男						
2女						
1共						

[6] 第4形動詞 أَعَانَ を直説法の完了形と未完了形の受動態に活用させなさい。

	完了形			未完了形		
	単数形	双数形	複数形	単数形	双数形	複数形
3男						
3女						
2男						
2女						

[8] 次の文に母音符号をつけ、日本語に訳しなさい。

- هل يشرب الشاي بالنعناع أو بلا نعناع عندكم ؟
- يشرب بالنعناع وبلا نعناع .
- وهل يجعل فيه كثير من السكر ؟
- يشرب بكثير من السكر حين يكون قويا أو متوسطا ، وبقليل من السكر حين يكون خفيفا .
- وكيف يذوب السكر ؟
- يذوب قليلا بينما الشاي على النار . ثم يصب الشاي من البرادة إلى الكؤوس ، ومن الكؤوس إلى البرادة ، وهكذا ...
- وكم مرة تعاد عملية الشاي ؟
- توجد طريقتان ؛ إن قليلا من الناس يشربون أربع كؤوس . أما الآخرون فيشربون ثلاثا .
- وفي أي وقت يشرب الشاي ؟
- يشرب بين الغداء والعشاء ، ويشرب أيضا بعد العشاء .
- هلا يمنعكم من النوم ؟
- لا ، لأننا تعودنا أن نشربه قبل أن ننام .

[9] 次の文に母音符号をつけ、日本語に訳しなさい。

- هل أشوي لك قطعة أخرى من اللحم ؟
- لا ، شكرا . قد شبعنا والحمد لله .
- زيديه قطعة ، فإنه لم يأكل شيئا . إنه لحم غنمي طيب جدا . يذوب في الفم . ثم قدمي إليه شيئا من التمر .
- أشكركما كثيرا ، لكنني لم أتعود أن أكل هكذا .
- ماذا تعودت أن تأكل ؟
- شيئا من الخبز والتمر واللبن فقط .
- هذا لا يكفي شابا صغيرا . وهل تشرب الشاي ؟
- نعم ، وأحبه كثيرا .
- لعل الشاي يقطع شهوتك إلى الطعام ؟
- لا ، لأنني أجوع ، لكن يكفيني التمر واللبن .
- إذا لنتشرب ثلاث كؤوس شاي معا . سخني الماء من فضلك .
- أنا أشرب كأسا واحدة لأنام جيدا .

[10] 次の文をアラビア語に訳しなさい。

「過去の（＝この前の）休暇の間に、モーリタニアを訪ねたのはあなたですか？ その住人たちはどのように生活していますか？」

「モーリタニアでは、たくさんの肉 [非限定単数] とナツメヤシの実 [非限定単数] が食べられます。でも、野菜 [非限定複数] と果物 [非限定複数] は少ししか食べられません。」

「モーリタニアでは、野菜 [限定複数] と果物 [限定複数] は栽培されますか？」

「いいえ、それらは外国から輸入されます。そのため、それらは少ししか見出されません。」

「魚 [限定単数] は食べられますか？」

「それは、たくさん見出されるにもかかわらず、少ししか食べられません。モーリタニア人 [限定複数] は、それを食べる習慣を採用しませんでした。彼らのうちのある者は、決してそれを食べません。」

「人々はたくさん（＝頻繁に）映画に行きますか？」

「いいえ、でも彼らはたくさん（＝頻繁に）ラジオ [限定複数] を聴きます。」